

性売買の現実を変えるために

性売買サバイバーとともに歩む日韓の活動現場から



2022年には日本ではじめての女性支援の根拠法となる女性支援法が成立し、性搾取に取り込まれやすい若年女性に対する支援が法律に盛り込まれた。しかしその後も、性売買の構造に切り込む議論や実効性のある支援がなされておらず、被害は拡大し続けている。

そこで、韓国最大級の性売買集結地である釜山・玩月洞(ワノルドン)で、性売買業者の不当な搾取と抑圧に苦しむ女性たちへの支援活動を行ってきたチョン・キョンスク氏をお呼びし、性売買の現実を変えるために必要なことを考える。特別ゲストとして、釜山の性売買経験当事者団体「ナリナティ」メンバーも来日。

講師：チョン・キョンスク氏

韓国釜山の女性人権支援センター「サルリム」初代所長。二十代の頃は生きる道を探して迷い続けたが、二十代後半に女性学に出会い、釜山で性暴力、DV、性売買の分野で現場活動家として働くようになり、性売買女性を支援する「サルリム」を立ち上げた。性売買の現場に飛び込み、性売買女性の信頼を得ながら支援する活動に全力を注ぎ、その軌跡が「玩月洞の女たち 韓国の性売買サバイバーとともに歩んだ女性連帯の記録」(現代人文社)として日本でも翻訳出版された。釜山女性団体連合代表、釜山地方裁判所青少年和解勧告委員としても活動するかたわら、大学で女性学および社会福祉学を講義するなど、多方面にわたって活躍。現在、釜山広域市女性暴力防止総合支援センター長、釜山国際映画祭非常任理事を務めている。



クロストーク

金 富子 氏



植民地朝鮮／現代韓国ジェンダー史研究。東京外国語大学名誉教授。共著『植民地遊廓—日本の軍隊と朝鮮半島』(吉川弘文館、2018年)、共編著『性暴力被害を聴く—「慰安婦」から現代の性搾取へ』(岩波書店、2020年)、監訳『性売買のブラックホール—韓国の現場から当事者女性とともに打ち破る』(ころから、2022年)、監修『無限発話—買われた私たちが語る性売買の現場』(梨の木舎、2023年)、監修・解説『玩月洞の女たち』(現代人文社、2025年)ほか。

宮崎 理 氏



明治学院大学社会学部准教授。専門は社会福祉学、ソーシャルワーク論。反レイシズム、ポストコロナル・スタディーズ、フェミニズムなどの知見を手がかりに、批判的で社会変革志向のソーシャルワーク理論の研究に取り組んでいる。共著に『The Routledge International Handbook of Feminisms in Social Work』(Routledge、2024年)、『ジェンダーからソーシャルワークを問う』(ヘウレーカ、2020年)など。

仁藤 夢乃



一般社団法人Colabo代表。虐待や性搾取のなかにいる少女を支える活動を通して、これまでに関わった若年女性1万人以上。性売買の実態や構造について、当事者とともに声をあげている。厚労省「困難な問題を抱える女性への支援のあり方に関する検討会」構成員として、女性支援法の制定に携わる。著書に『難民高校生』(英治出版、2013年／ちくま文庫、2016年)、『女子高生の裏社会』(光文社新書、2014年)、『当たり前の日常を手に入れるために』(影書房、2022年)など。

6月15日(日) 13時～16時 (12時半開場)

会 場 早稲田大学 戸山キャンパス 参加費 1,000円(寄付チケットあり)

(詳細は申込み後にご案内) 東京都新宿区戸山 1-24-1

申し込みフォーム <https://colabo-official-symposium.peatix.com/view>

